

**【ポイント】**

ワークを通して自分の境界線を知り、その危機（ピンチ）についてアンテナを張るきっかけとする。

**【留意点】**

- ・発表の際は、まず先生に発表してもらい安全な枠を感じてもらう。  
先生には打ち合わせなどの段階でワークの意図を伝え、事前に内容を共有しておく。
- ・生徒が考えてくれたことに対して受容、フィードバックを行っていく。その際、子どもたちの力を信じ、エンパワーメントしていくことを忘れない。